

はぎやま

令和八年 九月 二十日発行

第一六四号

東京都立萩山実務学校

東村山市萩山町一・三七・一

☎〇四一(三四一)六〇一一

安心して穏やかに過ごすために

管理課長 弥重 寿樹

学校管理棟などの改築工事に伴い正門が閉鎖し、北門が一時的な出入口となつてから半年が経過しました。

周辺には樹木が密集しているため、春から初夏にかけてウグイスやシジュウカラなどの様々な鳥たちの鳴き声が賑やかです。また、管理棟横の枇杷の木にはムクドリが集まって枇杷を食する様子にも遭遇します。七月には赤紫の百日紅が咲きはじめ、中旬にはセミの大合唱で本格的な暑さを迎えました。萩山では工事中でも季節ごとに移り変わる生きものや果樹、草花を見ることができます。

改築工事ですが令和十年三月の完了に向けて進めております。ご来校の皆様にはご不便をおかけしておりますが、引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昭和時代の様子

今年(昭和元年)から起算して満百

年になりますが、当時は井之頭公園の一隅に養育院感化部井之頭学校として運営していました。近隣の方々にはブラスバンド部の演奏が聴こえたのではないかと想像します。

昭和十四年、自然豊かな萩山の地に児童とともに移転し、萩山実務学校に改称しました。この年は長引く戦争に備えて白米禁止令(米穀搗精等制限令)が公布。

昭和二十一年、敷地内に戦災孤児、引揚孤児等を迎え入れる萩山学園を設置しました。二十五年三月末には実務学校と学園を合わせて三百名を超える規模に。

昭和三十九年、修学旅行先である京都奈良には、国鉄「急行六甲」に乗車して約七時間かけて移動しています。この年は東京オリンピックが開催

「おしん」が放送され、一年間の平均視聴率五二・六%という驚異的な数字が残っています。主人公は七歳で奉公(住み込みで働く)に出されます。井之頭学校時代には入所前に奉公に出

されていた児童もいたそうです。

気持ちに言葉にすること

様々な時代背景を経て令和の時代を迎え、社会や価値観が変化する中で児童の様子や入所理由も変化しています。萩山では現在、対話型支援をととても大切にしています。具体的には、児童の心の内側にあるモヤモヤを言葉にする↓モヤモヤや不安が外に出て自分を客観的に認知するようになる、いわゆるメタ認知ですが、その成長を促していきます。状況に応じて視覚支援といった環境調整を行うなど様々な支援過程を経ながら児童が主体性を取り戻し、自己肯定感につながればと思います。

心の成長

行事の作文を読むと児童の成長している様子がうかがえます。六月の春の遠足では、「ご飯を美味しく食べてほしいので丁寧に研ぎました」、「色々な人に支えられて今の自分がある」などから、思いやりと感謝の心が育まれているのを感じました。七月の国立ハンセン病資料館の見学

では、「忘れてはいけない歴史」、「自分の気持ちを大切にすることに気づかされた」などから、歴史を知ることや気づきを得ることの大切さが伝わってきました。入所時と比べて児童の成長を感じとれて、とても感慨深いものがあります。

社会の一員として

萩山では各児童が困りごとをお手紙にして意見箱に入れるシステムがあります。児童との面談では、安心に変えるための出来事のとらえ方や工夫がないか児童と一緒に考えます。内容によっては多くの職員が関わるなど労作が必要ですが、自分への関心や理解を知り、基本的な信頼感の醸成につながればと思います。

入所中には多くの大人と面談をする機会があります。他者の考えに触れたり課題解決の方法についての知識を得るなどにより、相談や信頼する力、そして社会の一員としてその人らしいかたちで社会に適応していく力を育んでほしいと思います。

春の全校遠足

六月十日、全校遠足であきる野市にある秋川溪谷へ行きました。

さくら寮 Oさん

私は萩山に来て初めての遠足に、すぐワクワクした気持ちを抱いていました。駐車場に到着した時も「ここは本当に東京都の一部なのか」と疑うほどの景色が広がっていて、少し圧倒されました。その後落合キャンプ場に行き、薪や鉄板を共同作業で運びました。

しかし「二息ついたかと思いきや、薪に火をつけて、けむりっぽい空気を浴びながら、任されていた米研ぎを行いました。また、その時、飯盒を初めて見て「意外と小さいな」と思いました。

お肉を焼き始めました。まずは豚ロースから焼きました。アルミホイルにくるまれたトウモロコシも一緒に蒸しました。焼いている時も、お肉のいい匂いがして、早く食べたくて仕方なかったです。そして、焼きたてのお肉を食べて、ほおが落ちるような味に幸福感に包まれました。みんなが作ってくれたみそ汁やおこげの付いたお米も美味しかったです。

また、その間に焼きそばも作ってくれていて「わあーっ」と盛り上がった気分になりました。結局、おながが苦しくなるくらいまで食べたので「川に入れるかなあ」なんて心配もしました。

片付け作業では、洗い物をしました。飯盒に付いたススを落とすのに、とても苦労しました。けれども、その後に食べたスイカが美味しくて、疲れが飛んでいきました。

川遊びでは「軽く水と戯れるくらいかな」と思っていました。けれども、みんな担当の先生に水をかけたりして、はしゃいでいました。もちろん、私もたくさん水をかけました。川の水はやっぱり冷たくて、体が冷えるようだったけど、楽しかったです。

この遠足での経験で、初めてのことも沢山身につけることができたので、今後に生かしていきたいです。それにみんなといい思い出を作れたので、大切にしていきたいと思いました。



三 寮 Sさん

私たちは春の遠足で東京都あきる野市にある十里木ランドに行きました。バスに乗りながら目的地に着くまでの間、だんだんと自然に近づいているという実感を持つことができました。そして、移動している時間でさえ一つの素晴らしい遠足の楽しみだと強く思いました。

十里木ランドに着いてからは、さらに山の雄大さや緑の素晴らしい景色など、身を以て知ることができました。また、川の流れるは、目で追えば力強く、耳で聞けば、とても心地が良いものでした。そんな自然の中で仲間と協力し、互いに感謝の気持ちを持つて支え合えたことは、何にも代えられない素晴らしい体験だったと私は思います。

今回の遠足では自然に圧倒され、その中で不便でありながらも協力し助け合うことができた事は、言葉で言い表せないほどの自然の喜びだと私は思い感動しました。

六 寮 Tさん

ぼくは、萩山での初めての遠足に行きました。楽しい事や大変だった事がたくさんあります。

まず楽しかった事は、二つあります。一つ目は、周りとのコミュニケーションがとれた事です。「あれは、どうすればいいんですか」と聞いたり、普段あまり関わる人がいない人とおしゃべりなどができて良かったです。

二つ目は、川遊びです。カニを探すのがけっこう楽しくて、自分でも驚きました。ただ、他の人はカニやカエルなどを見つけており、探すのは「難しいな」と思いました。

次に大変だった事です。それは火起こしです。どういうタイミングで、うちわで扇ぎ、薪を入れるのかなど、難しく、また、煙が目に入って痛かったです。ただ、これがけっこう印象に残りました。

他にも「バスでの移動時間が意外と辛いんだよね」とか思っていました。が、外の景色を楽しめました。



入学式

六月十七日に中学一年生の入学式が行われました。

参加した児童は、制服に身を包み、緊張しながらも式に臨んでいました。式後には、入学式の練習や本番で頑張った事やこれから挑戦してみたいことなどを書いてもらいました。

入学式で感じたこと

五 寮 Tさん

昨日、入学式があり僕は感じたことが大きく分けて二つあります。

一つ目は、たくさん大人の職員さんが思ったよりいっぱいいて、緊張したことです。僕は誓いの言葉を言うことになっていたんですけど、緊張で呂律が回らなくて、ちよつと間違えてしまいました。でも、僕はあまり気にせず次に進みました。

寮の先生方も見に来て下さり、後で聞いたら「唇が真っ青だったよ」って言われ、僕はびっくりしました。本当かどうか再度聞いたら「本当、本当」って言われびっくりして「わかりました」しか言えなかったです。

二つ目は、希望の種を早く見たいなっと思っていて僕は早く育てたいなっと思っています。

今回の入学式には、こんなに大人の人に来てくださったので僕は本当に感謝しています。

僕は「これからの生活できちんと大人に恩返しをしたいな」って僕は思っています、これからの生活を頑張ります。



和菓子俳句

中学三年生は、毎年、国語の授業の中で「和菓子俳句」に取り組んでいます。

季節の和菓子を風物に見立てて、それぞれ俳句を一句詠みました。その一部を(本人の解説付き)紹介させていただきます

五 寮 Iさん

透き通る

自然の水と

岩 清水

【解説】

ぼくの選んだ岩清水は、透き通った皮の中にきれいな具が入っていました。

ぼくはその透き通った皮が自然の川の水のように見えたので、透き通った自然の水という言葉を使いました。

かしわ寮 Hさん

のぼり鮎

川に逆らい

のぼってく

【解説】

鮎は川の流れに逆らって泳ぎます。それがカッコいいと思ったから、「のぼる」という言葉を二回使いました。

二 寮 Mさん

清流を

昇りに昇る

焼 鮎 よ

【解説】

川の清き流れをどんどん力強く昇っていく鮎の様子を和菓子の焼鮎から思い浮かべました。

一 寮 Sさん

透明な

川面のうつる

鮎の群れ

【解説】

夏のキャンプ場に魚がたくさんいて、澄みわたった川の中で、色々な魚が気持ち良さそうに泳いでいる様子。

空の詩

中学一年生は国語科の授業の中で、背景となっている空の写真から想像を膨らませ、詩を創作しました。

「五感」と「比喩」を意識し、各々の言葉でイメージした「空」を表現しています。

夜はおどる

四 寮 Yさん

風がおどる

ひゅー

ひゅー

森がおどる

がさがさ

がさがさ

空はふかい海

なみなみがぶつかったような星空

動物はぐうぐうねむっている

夜はどんどこどんとおどっている

おもしろい空

五 寮 Tさん

青空と雲が遊んでいる

海のオーケストラ

爽やかな潮のにおい

海から涼しい風が吹く

悩みから解放された気持ち

青い海に白い砂浜がとけていく

百羽の渡り鳥が

青空の下で追いかけてくっくをしている

緑少なき都市の空

三 寮 Yさん

緑少なき都市の空

たくさんの方が今日にもにぎやかだ。

熱気をおびた都市の香り。

時は七月のある日、ついに来た夏休み。

とても蒸し暑い都市の空

関東少年野球大会

六月十一日と六月二十五日に関東少年野球大会へ参加しました。

二 寮 Wさん

初めて大会に参加しました。最初に戦った相手は那須学園です。

那須戦では、ファーストとしてスタメンで出場しました。

バッティングではあまりいい活躍ができませんでしたが、守備の方では大活躍しました。

試合前の練習ではボールを後ろに逸らしたりしました。しかし、試合が始まった後は、一度も後ろにボールを逸らしませんでした。ショートバウンドの難しいボールも全部取ることができました。



林間教育

七月十五日から七月十七日まで会津高原と尾瀬沼に林間教育に行きました。また、最終日には「起き上り小法師の絵付け体験」を行いました。

さくら寮 Hさん

最初で最後の林間でした。まず一番は、山めちゃくちゃ大変でした。でも、最後まで登り切ったので、達成感があるし「自分って、こんなに動けるんだ」って思いました。雨で、足元が滑りやすくなっていたので、転ばないように気をつけながら登りました。また、湿気がすごくてムシムシしてたり、虫が多かったり、部屋にクーラーが無かったりして、大変だと思うこともあったんですけど、その中でも楽しい思い出ができたり、みんなと協力しあってメリハリをつけて過ごせたと思います。

個人的に一番印象に残っているのは、花火です。自分が想像していたものよりもはるかに大きくて、高かったのでものすごく感動しました。本当に見られて良かったです。

林間の準備をしてくれた先生方、一緒に来てくれた先生方、食事を作ってくれたホテルの方、いろいろな人に感謝の気持ちでいっぱいです。それと同時に辛くても最後までやり切った自分がすごいと思いました。

一 寮 Kさん

僕も三日間の感想は「ごはんが美味しかった」「花火がキレイだった」

「起き上り小法師がかわいいかった」など、色々の良い思い出ができました。他にも、スキー場のコースで散歩して自然を楽しんだり、たくさん尾瀬沼を歩いて、筋肉痛になったりしました。そして、先生方や寮の職員とも多くの時間を過ごしました。

林間教育では、公共のホテルを使うので、マナーと感謝はしっかりとし、メリハリをつけました。移動中は静かにバスに乗り、夜は静かに寝るなど、いろいろ考えながら行動しました。大好きな寮の先生たちと行けた事が僕にとっての一番の幸せです。この後も、寮生活を頑張ろうと思います。



社会適応講座

「命と人権について学ぶ機会」として、中学三年生と高等部生を対象に、七月二十二日と二十三日に国立ハンセン病資料館を見学しました。

また、ハンセン病の回復者(平沢さん)の講演DVDも視聴しました。

六 寮 I さん

私は今までハンセン病について、聞いた事もなくて、全く知りませんでした。

事前指導で平沢さんDVDを見て、平沢さん本人の話を聞いて、とても悲しくなりましたし、かわいそうだと思いました。特に監房に入れられて死ぬ人がいると聞いて悲しかったです。人は皆、平等なのに人権を尊重されないうていうのも、かわいそうだと思います。

今日この見学があったことで考え方が少し変わりました。

けやき寮 K さん

私が最も印象に残っているのは、平沢さんのお話しの中で、桜の木をたくさん植えたら、今では何千人の人々が花見をしに来るようになったという話です。

昔は、ハンセン病への間違った考えで、全生園の中に入ることも恐れられていたのに対し、最近では少しずつ正しい情報が人々に伝わってきたことにより、たくさんの方が花見をしに来てくれるという話はとても感動しました。



総合福祉講座

「疑似体験を通して、合理的配慮を考え、相手の気持ちに寄り添って行動すること」について学ぶ機会としてサマースクール期間に中学一・二年生は目の不自由な方の疑似体験を、中学三年生は車椅子による介助及び自走体験を行いました。

また、体験後には、目の不自由な方のDVDを視聴しました。

四 寮 M さん

その人に対し、それぞれが自分でききるサポートをすることがいいと思います。

手話が話せなくても、身振りや筆談で伝えることは出来るかもしれない

いし、これからも自分にできることを考えていけたらと思います。

四 寮 M さん

道や駅などに助けを求めている人がいたら、すぐに声をかけようと思いました。

特に横断歩道で「青」だったり、またその逆で「赤」だった時は、知らせてあげようと思いました。

さくら寮 A さん

実際に白杖を使ってみると、自分がどこにいて、どのくらい進んでいるのか全く分からなくて、とても不安でした。

見ているだけだと分からない苦労も、体験を通してみると、とても良くその人の気持ちが分かりました。

三 寮 K さん

最初、杖で歩いた時は、怖くて少しずつしか歩けなかったけど、サポートがついたら、すごく楽になりました。



夏祭り

八月十四日に夏祭りを行いました。記念館にて開会式とブラスバンド部によるオープニングコンサート後、体育館で模擬店と盆踊りを楽しみました。

四 寮 G さん

私はここに来て、ここ初めての夏祭りでもあり、人生初でもありました。

この夏祭りは、それぞれの寮ごとに分かれて模擬店を開いていて、しかも、それらにプラスして、学校の先生方の「射的」や、調理の先生方の「くじ引き」などを用意してくれました。ちなみに賞品はケーキ等のスイーツで、とても豪華でした。

他にも、色々な模擬店がありました。私のいる四寮は、『けん玉』で技を一つ成功すれば、好きなお菓子がもらえるというものでした。

そして、最後は皆で盆踊りを踊って終わりました。私は練習ができなかったのですが、意外と簡単に踊れました。

今回の夏祭りは、本当に楽しく、また来年に向けて一年頑張ろうと思いました。



校内水泳記録会

この夏、授業や寮のスポーツの時間を使って水泳に取り組みました。

そして、自分自身の頑張りを確認する場として八月三十一日に校内水泳記録会が行われました。

夏の最高の思い出

二 寮 Nさん

八月三十一日、萩山に来て初めての校内水泳記録会でした。初めの方は緊張があつたのですが終わってみれば、とても楽しい気持ちになりました。

自分は、二十五メートルのクロールに出て、自己新記録の二十二秒でした。泳いでいる時、いつもより体が軽く、とても泳ぎやすかったです。自分だけではなく、他の人たちの応援もでき、とても楽しかったです。

寮対抗リレーでは、自分も選ばれ出場しました。自分たちの寮は四人出て、練習よりも十秒ぐらい速い、一分十六秒のベストタイムを出しました。

これを通して自分は、タイムが速くなったことや、楽しめたことで、とても良い最高の思い出になりました。



第二回 鑑賞教室

九月五日に、ジャズバンドの方を招いての鑑賞教室が行われました。

一 寮 Aさん

僕は今までジャズを聞いたことがありませんでした。だけど、ジャズを初めて聴いて思ったことは、ドラムはすごく大きな音だったけど、ギターは甘い音ですごく綺麗でした。また、コントラバスは、弦を指で弾いて音を鳴らすのを初めて見ました。トランペットは、滑らかな音で綺麗でした。「The preacher」は、ギターの甘い音や、ドラムの大きな音などが聞こえて、それぞれの楽器の音が良く聞こえてきました。

曲の途中で、一人だけの演奏をしている時は、一つの楽器の音を楽しめ、すごく楽しかったです。

最後の楽器の紹介では、ドラムロールをやって見せてくれて、すごいなと思いました。

二 寮 Zさん

今日、初めてジャズを聴きました。最初は「何それ」って思ったけど、とてもノリノリなってきました。心の中でノリまくりました。すべての曲が良かったです。

ドラムの人は、足と手を同時に動かして、それもハイスピード。自分もできるとうけど、「すごく努力しないと、あんなにハイスピードでリズム良くできないな」って思いました。

ギターの人もトランペットの人も、「最初は手にタコができた」って言うていました。また、「ギターを買うのも、アルバイトを何個も掛け持ちした」って言うていました。

好きなことのために、人生かけて本気になって、ものすごく努力して、それが、今の「すごい」って思われる理由だと思っています。本当に心から人として「すごいな」と思います。

僕も夢のために人生かけて本気でチャレンジしようと思いました。

三 寮 Hさん

初めてジャズを聴きました。ドラムがすごく迫力がありました。自分たちの頭の中で楽譜を作って、演奏していると聞きました。それを聞いた時ものすごくびっくりしました。

それぞれ、楽器の特長を生かした演奏が聴けて、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

今回の鑑賞教室を通して、ジャズという音楽、またジャズの魅力を知ることができました。また、いつか演奏を聴くことができる日が来るのが待ち遠しいです。

第二回 鑑賞教室

九月六日に、声楽とフルートのコンサートが行われました。

さくら寮 Oさん

声楽もフルートもあり知らなかったけど、今回、色々を知ることができたので良かったです。また、参加型のコンサートだったので良かったです。特に、歌ったり、楽器を鳴らしたりと普段できないことをできて、楽しか

ったです。また、聴いたことがある曲もあり、楽しめました。

質問コーナーでは、「どのくらい高い声が出るのか」を聞きました。すごい高い声が出ていました。「ガラスが割れるのでは」と思うぐらい、すごかったです。

知らない曲も、知っている曲も楽しく聞けたのが良かったです。フルートの吹き方を教えてくれて、詳しく分かったのが良かったです。

「ほたるこい」という曲を輪唱したのが、特にすごいと思いました。輪唱すると、つられて違う歌詞を歌ってしまいそうだけど、すごく綺麗に歌っていたのがすごいと思いました。

五 寮 Kさん

迫力がすごくて、とても楽しかったです。特に最初の「乾杯」は、高い音と低い音のすごい波がある歌声で感動しました。

「村祭り」では色々な楽器を使ったり、拍手をしてテンポをとったりして、コンサートに参加できて楽しかったです。

フルートは、「糸」に感動しました。フルートの音は、あまり大きな音で

もなく小さくもなく、丁度よく、いい音でリラックスして聴けました。

声楽家のコンサートは初めてでしたが「こんな感じなんだな」「息がすごいな」と思いました。



「お知らせ」

苦情解決制度第三者委員の御紹介

萩山実務学校では社会福祉法第八十二条に基づいて、三名の方に第三者委員を委嘱しています。

委員の皆様を御紹介します。

○西東京共同法律事務所弁護士 片岡智子様

○児童養護施設福音音楽寮副園長 高橋幸成様

○公認心理師・臨床心理士 小玉昌直様

今年度も、意見や苦情などの解決に御尽力をいただいています。

福祉サービス第三者評価の

受審について

サービスの質の向上を目指して、萩山実務学校では、福祉サービス第三者評価を今年度も受審いたします。調査に当たっては、子供たちにもアンケートなどを行う予定です。評価結果は、とうきょう福祉ナビゲーション(通称:福ナビ)で公表します。御理解御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

厳しい暑さが続く中にも、朝夕には少しずつ秋の気配が感じられるようになってきました。

子供たちは夏休みやさまざまな行事、日々の生活の中で、多くの経験を積み重ねてきました。楽しかったことだけでなく、思うようにいかなかったことや新たな挑戦も、一人ひとりの成長につながる大切な経験になっていることと思います。

新しい学期を迎え、子供たちがこれまでに培ってきた力を生かしながら、自分らしく歩みを進めていけるよう、職員一同寄り添いながら支援してまいります。

保護者ご家族のみなさま、関係機関・地域のみなさまには、日頃より温かい御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

編集長

自立支援課長

文書管理

課長代理(庶務担当)

事務局

統括課長代理(福祉調整担当)

